

科学技術外交に係る 国土交通省の施策について

平成24年5月29日
国土交通省

アジアの多くの都市では、急速な経済発展と人口・産業の集中が進行しており、水不足が大きな問題となっている。

⇒公衆衛生の確保や水域の水質保全を目的とした下水道の整備が加速されており、現在は下水処理水が新たな水資源として注目されつつある。

アジア地域のみならず世界的な水問題の解決に向け、日中韓3国の主導により、水を安全に利用するための下水再生水技術の国際規格作りを推進することが重要

- **北東アジア標準協力フォーラム** ^(※) (第9回 ; 2010年7月) にて下水再生水の標準化について日本から提案。同フォーラムの合意に基づき、「都市における下水再生水利用に関する北東アジア協力会議 (通称RWUUA会議)」を立ち上げ、当該分野における日中韓の3カ国の標準化活動の協力を推進

(※) 日中韓の三国間での標準化活動の協力を推進し、共同で国際標準化の基盤の整備、標準規格開発、共同提案及び標準規格の普及に取り組み、アジア地域での一層の標準化活動に資することを目的とした会合。

都市における再生水利用に関する北東アジア協力会議設置後の動き

2011年3月に第1回会合（東京）、6月に第2回会合（釜山）を開催し、各国の下水処理水の再利用状況及び水質基準、ISO/PC 253（再生水の灌漑利用に関する専門家会合）への対応、今後の下水再生水分野に関する標準化の取り組み等について情報交換

2012年1月11日 第3回会合（北九州市）

➤ 下水再生水の安全利用に関する国際規格の作成について日本から提案。



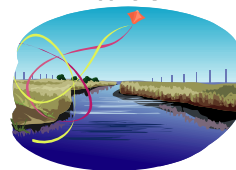
➤ 日中韓の3国で下水再生水の安全管理規格の作成の必要性等について認識を共有



第3回都市における再生水利用に関する北東アジア協力会議の状況（2012.1 於：北九州）

再生水の活用例

河川維持用水



工業用水



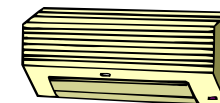
農業用水



水洗トイレ用水



熱源用水



消雪用水



「防災パッケージ」の考え方

良い防災対策は、下図に示すような、幅広い施策や事業の範囲の中から構成要素を組み入れ、**持続的に災害対応力を向上させていく必要**がある。例えば、計画段階から運用ルールの確立やモニタリングといった段階までの時間的範囲にわたる視点を持つことは、洪水対策施設が適切な機能を果たすことを担保する上で重要。また、ハード整備とソフト対策の適切な組み合わせは、費用対効果を確保する上で重要。その国の国民のニーズに適合するよう、防災対策の構成要素を適切に組み合わせたパッケージのことを「**防災パッケージ**」と呼ぶ。

